



昭和小 第24号

校長室便り
文責
生田 文明

六年生を送る会

一日（木）に六年生を送る会を実施しました。新運営委員会の初仕事となる今回の六年生を送る会。少し緊張気味に司会進行等を行い、会を進めていきました。

送る会では、はじめに、なかよし班（縦割り班）対抗による爆弾ゲームや何でもコールを行いました。この一年間、掃除や朝のスポーツタイム、美化作業など、なかよし班で、毎日活動してきました。班の絆も、とても深くなっていました。

全員遊びの後は、日々のなかよし班活動を思い出し、感謝の気持ち「花への水かけのやり方を教えてくれたありがとう」「そうじできつかったとき手伝ってくれてありがとう」などを記した寄せ書きを班員から六年生一人一人へプレゼントしました。

また、特にお世話になった一年生からは、記念の手作りメダルもプレゼントされました。

「六年生のお兄さん、お姉さんと本当にお別れなんだ。」握手を交わしながら、六年生の言葉を聞きながら、思い入る在校生でした。



お別れ遠足

体育館で六年生を送る会を実施した後、いよいよ、お別れ遠足に出発です。前日の夜は春の嵐で、遠足ができるか心配しましたが、当日は、雨も上がり、千丁町のいぐさの里公園へ向け出発しました。

約一時間で公園に到着。その後、お弁当を食べる頃には、お日様も出てきました。

公園では、遊具で遊んだり、鬼ごっこをしたりして、子ども先生も一緒になって遊びました。春の温かな日差しの中、汗ばむ陽気となり、運動着一枚で遊び始める子もいました。

四十五人の児童、そして先生が一緒になって遊び、思い出に残る楽しいお別れ遠足となりました。



二分の一成人式

二月二十七日（火）、二分一成人式を行いました。

式では、四年生の七名の子どもたちが、将来の夢について発表しました。また、日頃の感謝の気持ちを込めて、家族への手紙を読み、お母さんに

手渡しました。感謝の言葉を伝える際、言葉に詰まり、親子で涙する場面もあり、また、手紙を読み終わった後に親子で、ハグする場面もあり、教室は、とても温かい雰囲気になりました。

これまで子どもたちは、家族に見守られ、頼りっぱなしの十年間だったと思います。しかし、これから成人までは、自立への道を歩む準備をする十年間となります。自分自身を見つめ、自分の将来の進路を決め、自立への一歩を踏み出す大切な十年間となります。

親子の意見や考え方のちがいで、互いにつつかり合うこともあるでしょう。そんなときこそ、互いの考えや意見を遠慮なく出し合い、また、尊重し、これまで以上に親子が向き合うことが大切になってきます。親子で、子どもの自立への道を探す十年間だと思えます。

今回の式は、子どもたちだけでなく、大人も、子どもと過ごした十年を振り返り、十年後、二十年後・・・を想像し、今、大切なこと、大切にしなければならぬことは何かを立ち止まって考える良い機会となりました。

子どもたちの夢や希望へ向けた歩みをこれからも共に支えていきましょう。

